

放課後等デイサービス自己評価表の公表

事業所名 地域生活支援センターはぎのこどもデイサービスびーす

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			設置基準を満たしています。児童数や活動によっては狭く感じることがありますが、プレイルームや個室、中庭を有効に活用しています。また、長期休暇時は、旧はぎの園と活動場所を分けて活動をしています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準を満たしています。送迎が重なる時は、他事業から応援をしてもらっています。男性職員がいるとまた違う支援ができると感じます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			基準に沿った設備となっています。施設内に段差はなく、トイレは車椅子に対応しています。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎月の事業会議で情報共有を行っています。適宜ミーティングを行い、業務改善に取り組んでいます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者より個別にいただくご意見、評価表の結果や内容を職員間で共有することにより、業務改善に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			結果は事業所内への掲示にあわせて、保護者各位へ配布、法人のホームページにて公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価は受けていませんが、事業所内での他事業、他職種からの助言、法人内監査の指摘等を、業務改善に繋げています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			職場内外の研修に積極的に参加しています。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			計画作成に際しては、本人、保護者の意向を聞き取り、それを基に計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			日々の状況や、本人、保護者、関係者の所見をもとに幅広い視点でアセスメントを行っています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当者が作成した内容を、職員間で確認・共有し、児童発達支援管理責任者が総括しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			ご利用児の利用日に合わせて調整をしています。また、ご利用児の様子にあわせて、変化を持たせることも心がけています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			ご利用児、曜日、利用時間に合わせて、活動を設定しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団、個別、それぞれの活動に参加できるように、計画を作成しています。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前に打ち合わせや引き継ぎを口頭で行っています。	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援の振り返りを行い、改善点等は職員間で共有できるよう伝言板を活用しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		利用後に記録を作成しています。気づきがあれば、共有と改善に取り組んでいます。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的実施しています。計画の見直しについても検討しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		ガイドラインに示された指針を基に、活動プログラムを作成しています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者の他、状況に応じて、専門職の出席を検討しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		保護者、学校の協力を得ながら、必要な情報の取得、提供に努めています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在は対象となるご利用児はいません。問い合わせがあれば検討をしたいと考えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		相談支援事業所や関係機関と連携して、情報共有に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		相談支援事業所や関係機関と連携して、情報共有に努めています。必要に応じて、支援会議への出席を行います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		療育セミナーや圏域で開催される研修に参加しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		地域行事やお祭り等への参加、児童館や公共施設を利用することで、機会を設けています。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		こども部会に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳、送迎の際の対応時、必要に応じて情報共有をしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	ペアレントトレーニングは行っていませんが、相談があれば助言をしています。また、他事業所で開催される研修会のチラシを事業所内で掲示して、情報提供をしています。今後、保護者向け勉強会等を行っていく予定です。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用契約の際に、重要事項の説明、利用者負担等の説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		連絡帳や送迎の際の対応等、ケア会議の中で、必要に応じて行っています。

保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者会懇談会や、親子ふれあいデーを設定し、保護者同士の関わりが持てる機会を設けています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情受付箱を設置し、苦情受付担当、第三者委員をおいています。ご指摘があった場合、情報共有をして対応に努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月のぴーすだよりや法人のホームページで、活動内容、近況、お知らせ等を発信しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		取り扱いには十分配慮しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		わかりやすい説明を心がけています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	現在、地域の方を招待する行事は行っていません。来年度に計画しています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各種マニュアルを策定しております。発生を想定した訓練を行っています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的に訓練を行っています。実施した際には、参加状況を連絡帳に記載、記録を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		職場内にて虐待防止研修を実施、全職員が必ず受講し、意識の向上に努めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		緊急時やむを得ない場合の身体拘束に係わる適切な手順を定めています。対象となる児童には十分な説明と同意書の作成をお願いしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		利用開始前に、アレルギーに関するアンケートを実施して確認しています。必要があれば、医師の指示書の提示をお願いしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット報告書にて、危険性や気づきについて共有しています。毎月、リスクマネジメント委員会にて再発防止に向けての検討をし記録を回覧情報共有をしています。